

報 告 書

開催日時	平成27年10月16日(金) 19時00分～20時30分				
自治協議会名	高尾住民自治協議会	開催場所	高尾地区市民センター		
出席議員	市川岳人、生中正嗣、百上真奈、前田孝也				
	司会者	生中正嗣	記録者	百上真奈	報告者
参加人数	15名				

【主な意見・提言等】

- ・ 県道青山美杉線が平成22年8月から通行止めになり、解除未定が続いている。高尾地区にとっては生命線であるが、通行止めにより、生活圏域が名張になってしまっている。伊賀市にとっても損失ではないか。ダム及び青山美杉線の進捗状況の地元説明と早い通行止め解除を国・県に強く要望してほしい。
- ・ 獣害対策について、防護柵の中に住民が暮らしている状況の中で、柵をするよりも、個体を減らす対策をしてほしい。
- ・ 12世帯の地区で年間40頭の獣を捕獲しているが、埋める場所にも限界があるため、捕獲した獣を市が引き取り行政で処理してほしい。
- ・ 地域包括交付金については、高齢化率加算をしてほしい。
- ・ 高齢化率51.7%の高尾地区は、地域の共同作業が困難になっており、地域の存続が危ぶまれている。名張市では15地域自治協に対し3人の専従担当職員を配置し、地域と一体になってアドバイスや支援がなされていると聞く。伊賀市も支所職員が兼務するのではなく、専従の地域担当職員を配置し、住民との協働のまちづくりを進めてほしい。
- ・ 高尾から一旦津市に入り古田地区に抜ける道路が地すべりで4月から通行止めになり、高尾と霧生をつなぐ道路も未完成で、古田地区の住民が高尾に来る道路がなくなり困っている。県道であっても困るのは市民なのだから、市として県に強く工事推進を働きかけてほしい。
- ・ 様々な問題を見ていると、結局、伊賀市のこの南部地域は見捨てられているように感じる。地方創生というのなら、住民が持っている地域存続への不安感を市も共有し、一緒に考えてほしい。
- ・ 2025年問題を見据え、社協の協力を得て行う高齢者の介護事業については順調に進んでおり、議会に対して感謝する。自分たちで動いてやれることはやっていこうという思いでがんばっている。

伊賀市議会議長 様

平成27年10月20日

議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成27年度議会報告会2班

班長 市川 岳人